



議会報告 2019.09 VOL.2

令和元年9月定例会



9月12日に開会した9月定例会では、子ども医療費助成・勤労者福祉共済・交通災害火災等共済事業の条例改正などのほか、佐竹台小学校の増築工事や中央図書館の大規模改修工事、片山高浜線自転車搬送コンベアの設置などの予算が提案され、大阪維新の会・吹田からは斎藤晃議員が会派を代表して質問いたしました。

一般会計補正予算の可決にあたっては会派としましては、懸念・疑問視される点について指摘いたしました。

市から提案された議案はすべて可決され、10月7日に閉会いたしました。

同一労働同一賃金をめざして

同一労働同一賃金をめざして

パートタイム職員に期末手当の支給が可能になるなど、昇給や休暇、福利厚生を「正規職員と均衡にする」事が目的です。臨時・非常勤を正規化し、今後人件費が膨らみすぎないか注視していく必要があります。

市長の公務内容公開について

市長の政治的な面会は一切ないのか

公務としての面会について面会相手が公開されていないことは問題です。

面会相手のプライバシーの関係から答弁を拒否する姿勢を貫きましたが、プライベートな面会ではなく公務としての面会ですので一定公表すべきです。

予算常任委員会(建設環境分科会)

岸部中住宅統合建替事業にかかる埋蔵文化財発掘調査費について

Q:
9015万円という巨費をかけて行う埋蔵文化財発掘調査事業であるが、調査の範囲等の費用の根拠は吹田市教育委員会が提示している、調査の結果や成果は吹田市民の公共財であるが、その巨費に見合うのか疑問が残る、費用対効果を鑑み判断すべきである。

A:
費用に対する出土品の価値はいかかなものかというところであるが、調査は法律の定めにより絶対的に課せられているものである。

放課後児童健全育成事業

吹田市放課後児童健全育成事業の一部を改正する条例

放課後児童支援員の資格基準を変更する改定案に当会派は賛成。

可決されましたが質疑では他市の月額5,000円程度と比べて安価な保育料(月額3,700円)であるが、育成室の棚が壊れている等の老朽化をしている室があり、最低限の環境整備や、民営化による効率化の推進も必要と考えます。

交通災害・火災等共済条例

吹田市交通災害・火災等共済条例を廃止する条例の制定

本共済制度の加入率が約1割の現状で、加入者相互の助け合いという相互扶助の意味合いが薄れている状況のため廃止案が出され、当会派は賛成し可決。

本共済制度における見舞金請求期間が事故や火災等の発生日から2年以内であるため、令和4年3月末まで給付を行うための事業は継続されます。

子ども医療費助成拡充

医療費助成の年齢が15歳から18歳になります

18歳まで対象年齢を引き上げることで、安心して医療が受けられるようになります。

すでに所得制限の撤廃していて安心して医療が受けられます。

市民病院の患者送迎バス補助事業

患者送迎バス乗り漏れ対策に補助金

本来送迎バスは市民病院の予算で運行すべきです。

送迎バス運行には、他の地域からも要望があるにも関わらず一定の地域のみに行われている状況に税金を使うことは公平性が担保されていない。